

佐藤清明著 十二支叢談「龍の話」 昭和3年(1928)辰ノ年元旦

十二支叢談 龍 の 話

年賀状ニ代エテ此ノ拙キ一文ヲ旧年中色々
御世話ニナツタ諸氏ニ捧ゲテ感謝ノ微意ヲ表ス

昭和三年辰ノ歳元旦 佐藤清明



去ル大正十三年以来毎年十二支ノ動物ニ關シ 簡単ナ解説ヲ
試ミテ來マシタガ ソレガ今年ハ コンナツマラヌモノニナリマシタ。
昨年末健康ヲ害シ職ヲ退イテ居リマスノデ 隨ツテ十分ナ材料
ヲ得ラレナカッタノハ遺憾デアリマス。諒闇ノ明ケタ第一年ト
シテ健康回復ノ第一年トシテ併セテ大イニ活躍シタイト思ヒマス
カラ何卒旧ニ倍スル御鞭撻ト御庇護ノ程ヲ祈リマス。

NO.1.

龍とは何か

1. 龍ノ思想ハ全世界ニ存在スルガ 所ト時トヲ異ニスルニツレ大イニ異ナッテ居ル。日本デ云フ龍ハ支那ノ龍ト一般ニ同一デアルカラ 支那文化ノ伝搬ト共ニ日本ヘハ支那カラ伝ハッタモノト一般ニ信ゼラレテ居ル。
2. 龍ノ姿ハ蛇ニ似テ居テ、更ニ四肢ト角ト鬚ヲ有シ 雨ヲ呼ビ雲ヲ起シ雲ニ乗ジテ天ニ昇リ、瑞兆ノ尤ナルモノト信ゼラル。諸書ニ依リ、其ノ形態ヲ案ズルニ、角ハ鹿ニ似、頭駝ニ似、眼ハ鬼ニ似、項ハ蛇ニ似、腹ハ蜃(第二図)ニ似、鱗ハ魚ニ似、爪ハ鷹ニ似、掌ハ虎ニ似、耳ハ牛ニ似(以上ヲ龍ノ九似ト云フ)、鱗ハ九々ノ陽数デ八十一枚アリ、頷下ニ五色ニ光ル明珠アリ(コレヲ採ルト願ガカナフト竹取物語ニ出ヅ)、喉下ニハ逆鱗アリ物触レバ必ズ怒ル、(天子ノ怒ルハコレニ例フ)其ノ声ハ竹筒ヲ吹ク如ク、又金鉢ヲウツガ如クデ、口ノ側ニハ鬚ガアル。龍ハ群居セズ、春分ニハ天ニ上リ秋分ニハ淵ニ入り、夏ハ大イニ活躍スルガ、冬ハ泥ニ潜ミ 蟠(わだかま)ツテ出ス。性質猛ク美玉;空青ヲ愛シ燕肉ハ好ムガ、鉄、茵草、螟蛉、棟葉、五色糸ハ大嫌ヒデアル(故ニ燕ヲ食フテ川ヲ渡ルト龍ニ取ラル、又雨乞ヒニハ燕デ祈リ、洪水ヲ収ムルニハ鉄デ祈ルト云フ)。卵ヲ生ムモ親ハ直接暖メズ遠方カラ思ヒツメタ力デ孵化スル。コレヲ思抱ト称ス。雄龍ハ上風ニ鬚尖リ鱗ガ密デ上体強壯ダガ、雌ハ下風ニ鳴キ鬚円ク尾太ク。龍ノ性ハ淫デ牛ト交レバ麒麟ヲ生ミ、豚ト交レバ象ヲ生ミ、馬ト交レバ龍馬ヲ生ム。又云フ、第一子ハ蒲牢トテ鳴クヲ好ミ、第二子ハ囚牛トテ音ヲ好ミ、第三子ハ豈物トテ呑ムヲ好ミ、第四子ハ嘲風トテ險ヲ好ミ、第五子ハ睚眦トテ殺スノヲ好ミ、第六子ハ負巣トテ文ヲ好ミ、第七子ハ狴犴トテ訟ヲ好ミ、第八子ハ狻猊トテ座スヲ好ミ、第九子ハ霸下トテ重キヲ好ム。(文字集略、日虎通、坤雅、本草綱目、説文、類函、里見八犬伝等)
3. 龍ハ種類多ク、鱗ト四肢ヲ具ヘ大水ヲ起ス蛟龍、角アル虬龍(虯龍)、角ナキ螭龍(蛇龍)、翼アル応龍、優樂自由ナ福龍、不自由ナ薄福龍、百里ノ外ヲ見ル螭口龍、蟠(わだかま)レル蟠龍、苦シミテ雨ヲヤル垂龍、腥(なまぐさ)イ雨ヲ降ス病龍、九色ノ斑龍、七宿蒼龍、其他惡龍、毒龍、青龍、赤龍、黃龍、白龍、先龍、元龍、紫龍、黒龍、龜龍、鼉龍、分龍、火龍、擬口癩龍等ノ區別ガアル。
4. 美術ニ現レタ龍ノ形態ヲ見ルニ後漢以前ニハ花々シイ龍ハ見当タラナイ。



NO.2.

周禮ニヨルト周ノ天子ノ正装ニハ衣ニ龍ヲ描キ、爾來龍ヲ天子ノ表徵トシタ由ナルモ、共ノ正体ハ不明ダ。周ノ樂器ニハ螭ヤ虯等ノ文様アルモ、虯虫ニ似タ不得要領ナモノデアル。後漢以降デハ山東ノ武梁祠ノ画像石ヤ四川ノ石闕、碑ノ螭首、鏡ヤ甄ノ裝飾文ニ現ハレ、唐ニ及ビテハ愈々大成サレ尊嚴ナル威容ハ最高調ニ達シタガ、宋以降ハ又次第二深刻神秘ナ氣韻フ失ヒ、蛇ニ似テトゲトゲシクナツテ今日ニ及ンダ。日本デモ矢張リ同様ニ奈良朝デハ神韻縹渺タルモ江戸時代ノ狩野ノ龍ハ銜氣満々トシテ同日ニ語り得ヌ(伊東忠太氏)

龍の名義

5. 日本語“たつ”ノ語原ハ“起つ”ノ□デ天ニ起チ上ルカラ云フトモ、或イハ又“八雲たつ”ノ“たつ”ト同義トモ云フガ、一方蝮蛇ノ古語ヲ”たち“ト云フカラ ソレカラ転ジ、“たち”ガ ”たつ”トナッタトモ云フ。
6. 外国語デハ龍ヲ英語 Dragon、仏語 Dragon、独語 Drachen、瑞典語 Drake、丁妹語 Drage、エスペラント語 Drako、ラテン語 Draco ト云フガ皆悉ク希臘語 δράκων (大蛇即チ large serpent ノ意)ヨリ来リ、更に δέρκοματι (視る)ヨリ来テ銳キ視覚ニ訴エテ居ルカラコノ意味ニハ多少研究余地モアルト思ワレル。
7. 印度ノ龍ハ那伽ながノ漢訳サレタ Naga デ眼鏡蛇ノコトデアル。聖書ノ龍(タニン)ハ海蛇(チニン)ト同根デアル。サレバ要スルニ各国ノ龍ノ語原ハ蛇ニ関スル共通点ヲ有ス。

文献に見ゆる龍

8. 支那デハ古クカラ龍ノコトヲ記シ伏羲氏ふくぎノ時、龍瑞アリ龍ヲ以テ官ニ紀シ、黃帝ハ土德アリ龍ガ胡鬚ヲ垂レテ迎エ禹ハ木德アリ黃龍舟ヲ負ヒ、孔甲ノ時龍ガ天カラ下リ□人□□□孔子ハ老子ニ会ヒ、老子ヲ捕捉シ難イ老怪ノ人格ヲ龍ニ比シテ門人ニ語ッタ(莊子、史記)
9. 日本デハ豊玉姫(海神ノ女)ガ分娩ノ時、龍ニナラレタ。ソレヲ火遠理ほおりノ命ガ禁ヲ破ッテ好奇心ニカラレテノゾキ見ラレタノデ、豊玉姫ハ恥ヂテ逃げ去ラレタトアル(日本書紀)。
10. 仁徳帝六十七年吉備中国川島河ニ大虯(みづち龍)ガ居テ、通行人ガソノ毒デ多ク死ンダノデ、勇敢ナ縣守ガ現場ニ至リ瓢箪ヲ投ゲテ、“汝若シコノ瓢箪ヲ沈ムルヲ得バソレデヨシ、沈メナカッタラ命ハナイゾ”ト宣シタコロ、虯ハ遂ニ瓢箪ヲ沈メ得ナカッタ。斯ニ於テ縣守ハ飛ビ込ミ虯ノ一族ヲ悉ク殺シ為ニ河水血ニ変ジタ。(書紀)コノ考証ハ他日発表ス
11. 龍ヲヨンダ歌ハ万葉集十六、境部王詠歌種物歌ニ次ノ如クアルヲ初トスル。
虎にのり古屋を越えて青淵にみづちとりこむ剣刀もが(万葉集)
12. 爾來龍ノ出現記録ハ次ニ略記スルガ如シ

光仁十、七	京中ニ白龍現ハレ暴風雨ガ起リ民家ヲ損ジタ	日本紀略
寛平元、十、一、	即位ノ間、黃龍ガ天ニ上リ見タ者ガ多カッタ	扶桑略記
延長八、七、廿	黒雲起リ龍尾見エ大蛇ガ落チ家ヲ損ネタガ大蛇ヲ見タ人ナシ	古今著聞集
文治六、五、十三	大倉山ガ雷雨デ震ヒ龍ガ降ッタ	東鑑 <small>かがみ</small>
文永元、八、四、	醍醐カラ龍ガ天ニ昇ッタ	新抄
正平十六、六、廿三、	難波デニ龍ガ出デ雷ガナリ天王子金堂ガ倒レタ	細々要記
康安元、八、廿四、	同上	太平記

龍の伝説

13. 昔某天皇ノ時、瀧口ノ一人ガ御殿デタ涼ミヲシティタガ下僕ニ酒肴ヲトリニヤッタ、凡ソ十町ホド下僕ガ行ッタ時分ニタ立ガシテ、下僕ハ遂ニ帰ラナカッタ、翌朝行ッテ見タラ途デ下僕ハ倒レテイタノデ、早速医師忠明ノ処ヘツレコンデ手当ヲシタラ蘇生シテ“神泉苑ノ処デ雷鳴シ暗中カラ金ノ手ガ出タガ、ソレカラハ意識セヌ“ト語リ龍ノ仕業ト皆解シティタ(今昔物語)
14. 土佐デ元禄十四年暴風雨ガ起リ空ガ火事ノ様ニ赤クナリ、長サニ丈モアル大黒龍ガ銀白ノ鱗ヲ現ハシ昇天シテ其ノ為ニ番所ガ崩レ死傷者ガアッタ(新著聞集)。又 しばしば ソンナコトガアルノデ村々ハ鉢、太鼓、法螺貝ヲ用ヒ、大勢デ龍ヲ追ヒ出スト云フ(諸国採樂記)。越中、越後デモ類似ノコトガアリ又興津ノ冲デハ龍ガ黒雲ニ乗ジテ来テ舟ヲ呑マウトシタノデ、髪ヲ焼イタラソノ香デ黒雲ガ消エ失セタ。(東遊記)
15. 思フニ前節(12-14)ニ云フ龍ハ雷、龍巻、旋風ヲ誤認シタモノデアラウ、天象ヲ誤認シタ結果、龍ハ雨ヲ呼ブモノト相場ガ決マリ転ジテ魃ヤ洪水ノ際ニハ、龍ニ祈ッタ。貞觀十七年六月数旬ニ至リ雨ナク百姓ガ大イニ困ッタノデ神々ニ祈ッタガ効果ガナイ。時ニ昔空海ガ神泉苑ニ雨乞ヒシタノヲ見タト云フ古老ガアッテ神泉苑ノ神龍ニ祈ルコトヲ建言シタ(三代実録、故事談、今昔物語)、コレト反対ニ建暦元年ニハ洪水ガアッタノデ、歌ヲ詠ミ龍王ニ雨ヲヤメ給ヘト祈ッタ(金槐和歌集)
16. 雨ト龍トノ関係ハ転ジテ水ト龍ニナリ、更ニ一步進ンデ川、池、湖ノ主ト信ゼラレタ。川島河ノ虬ハ(10)川ノ主ノ一例デアル。池ノ主トシテ伝説ヲツ拳ゲルト、讃岐万能池ノ主ノ龍ハ或日小蛇ニ化ケテ日ニアッテ居タノヲ天狗ニ捕ラエラレテ比良ノ山ニツレテ行カレタガ、僧カラ一滴ノ水ヲ得テ再ビ飛ビ去リ復仇シタ(今昔物語)。
17. 更ニ池ノ主ノ龍ハ池ノ神秘ト結ビツイテ恋物語ヲ生ミ、美男ニ化ケテ美女ヲ魅スル話ヲ生ンダ。文治ノ頃、伊賀三宝池ノ主ノ龍ハ或ル女ノモトニ毎夜通ッテ居タガ、遂ニ女ヲトッテ逃ゲタ(古今著聞集)、信濃岩倉池ノ主ノ龍ハ領主高梨家ノ息女ニ想ヒヲカケ小姓ニ化ケテ出入シテ、一本松ノ処デ正体ヲ表ハシテ帰ルノヲ尾行シタ侍臣ノ一人ニ見ラレタノデ、其ノ怨ニ沓野沢四十八湖ノ水ヲ切ッテ大洪水ヲ起シタ。然ルニ高梨家ニ恩顧ヲウケタ地獄谷ノ山神ハ、恩返シハ此ノ時ト六地獄ノ火ヲ利用シテ水ヲ蒸発サセテ了ッタノデ事ナキヲ得タ。佐渡金山北山ノ湖ノ主デアル龍ハ、音羽ト云フ美女ガ腰巻ヲ洗ッテイルノヲ見テカラ遂ニ美男ニ化ケテ妻ニシタ。(藤□衛彦氏)湖沼ガ海ニワルト龍宮ノ伝説トナルガ省略ス。

印度の龍

19. 龍ハ万物ヲ支配シハ龍王ノ外、河水草木地火風百般ヲ守ル各龍王アリ其ノ数百八十六アリ或ハ三万八千ノ龍王アリテ仏法ヲ聞ク(大方等日藏經、大雲請雨經、大方等大雲經)
20. 龍ハ因果応報ノ理ニアッテ生ジ前身恐ルコト多キモノハ大海ニ生マレ代ッテ毒龍トナリ毒ヲ吐ク、吝ナモノ嗣子ナキニ死ネバ龍(前述ノ那伽)ニ生レ代リ遺財ヲ守ル(經律異相)(正法念處經、賢愚因縁經)、多淫ナ妙光女、生レ代ッテ多淫ナ牝龍トナッタ(毘奈耶雜事)、或ル健児ハ他人ガ諫メテ呉レナカッタノデ奔逸ナ生活ヲシテ死ンダトテ人ヲ恨ミ毒龍ト生レ代ッテ疫

NO.4.

病ヲ流行サセヤウトシタ。(衆経撰雜喻經)

21. 龍ノ中ニハ大毒アルモノアリ、しゃえこく舍衛國ニ龍氣ヲ稟ケテ生マレタ児ハ誕生ノ時、縦横四十里ノ血雨ガ降ッタ、其ノ唾ハ吐ケバ火トナル、試ミニ死刑囚ヲ与ヘテミタラ毒ヲ吐キテ殺スコト七万二千人、或時吼声四十里ニ達スル獅子ガ来タノデコノ児ヲ遣ハスニ獅子立チ所ニ毒ニ中ッテ死ンダ。コレハ龍氣ヲ受ケタノミダガ龍ソノモノハ毒ハ更ニ烈シク難陀□波羅陀ニ龍王ハ各八万四千ノ眷族アリ毎日三時毒氣ヲ吐キ二百五十“ヨジヤナ”内ノ鳥獸皆死ス(根本説一切有部毘奈耶)
22. 龍ニ三患アリ、第一ニ熱風熱砂ニアヘバ身ヲ苦シメ、第二ニ惡風急ニ起レバ身ニ着ケタ宝玉ヲ失ヒ、第三ニ金翅鳥ニアヘバ食ワレル。因ニ云フ、コノ金翅鳥ハ一名迦樓羅鳥トテ龍ヲ常食ニスル天狗様ノ鳥ト云フ(動物学上ヨリ見レバ鷲鷹 secretary birds ヨリ着想セリトスル理由アリ 第五図参照)。更ニ云フ、龍モ豪イガ生ル、死ヌ、姪スル瞋ル、眼ルノ五時ニハ正体ヲ表ハスト。

各国の龍

23. 龍ノ思想ハ世界各国ニアリ、シベリヤ人ハ新年ニ行フ指輪遊ビニ龍ノ名アリ、ニューギニア人 元服ノ時ハ其ノ青年一度ハ龍ニ食ハルヲ要ス、西北米ノ印度人ノ間ニハ龍ノ角ガ人ノ頭ニ着イテ離レヌ話アリ、古代メキシコ土人ノ作ッタ龍ガ大英博物館ニアル。メキシコノ龍ハ第六図ノ如シ。濠州メルボルン辺ノ龍ハ蛇デ、疫病ヲ伝ヘルカラトテ此ノ龍ガ来レバ土人ハ取ルモノモトリアヘズ、森ニ火ヲ放チテ逃ゲル。ソノ龍ハミンチト云ハル (第七図参照)



第八図 古埃及ノ龍 三種

24. 西洋ノ龍ノ形態モ種々アルガ一般的ニ云ヘバ東洋ノ龍ニ比べテ第一ニ翼ガアル(第六、八、十、十一図参照) 第二ニ脚ガ二本デアル(第六、十、十一図参照)、第三ニ神聖視サレズ却ッテ嫌ハレテ居ル等ガ異ナッテ居ル。然シ例外モアツカルヂヤノ龍(チャーマット)ハ鱗ヲ被リ四脚両翼ヲ有ス。古埃及ノ龍(アポピ)ハ蛇力鰐ニ似テ居ル(第八図)。新約全書末篇ノ龍ハ多頭デ、ローマノ龍ハ翼ガナイ(第九図)。
25. 西洋ノ龍ノ性質ハ凶惡ナルモノ多ク毒龍⁽¹⁾バシリスクノ如キハ眼ニ大毒アリ睨マレタラ悉ク死ヌル。故ニ鏡ヲ見セテヤレバ自身ノ毒ガ反射シテ死ヌル。エチオピアノ龍ハ頭ニ紅玉ヲ

NO.5.

戴キ毒ヲ吹クガ体ガ重イカラ川ニ落チテ死ヌル、アトランタ山麓ニモ亦重クテ動作ノ緩慢ナル龍ガ多イ。緩慢ヨリ總ジテ愚鈍ニナリ バルカン童話デハ龍ハ靴師ラザルスニ欺カレ玩弄サレ 仏国デモ其ノ頃ノ龍ハ河童ニ似テ淡水ニスムモ人ヲ害スルノ甲斐性ヲ失ッタ(以上三節南方熊楠氏)。

(1) Basilisk ($\beta\alpha\sigma\iota\lambda\iota\sigma\kappa\circ\varsigma$ royal 頭ガ王冠ニ似タルヨリ Pliny ノ命ズル処) Carylyle□□□中 Basilisk glanee□アリ

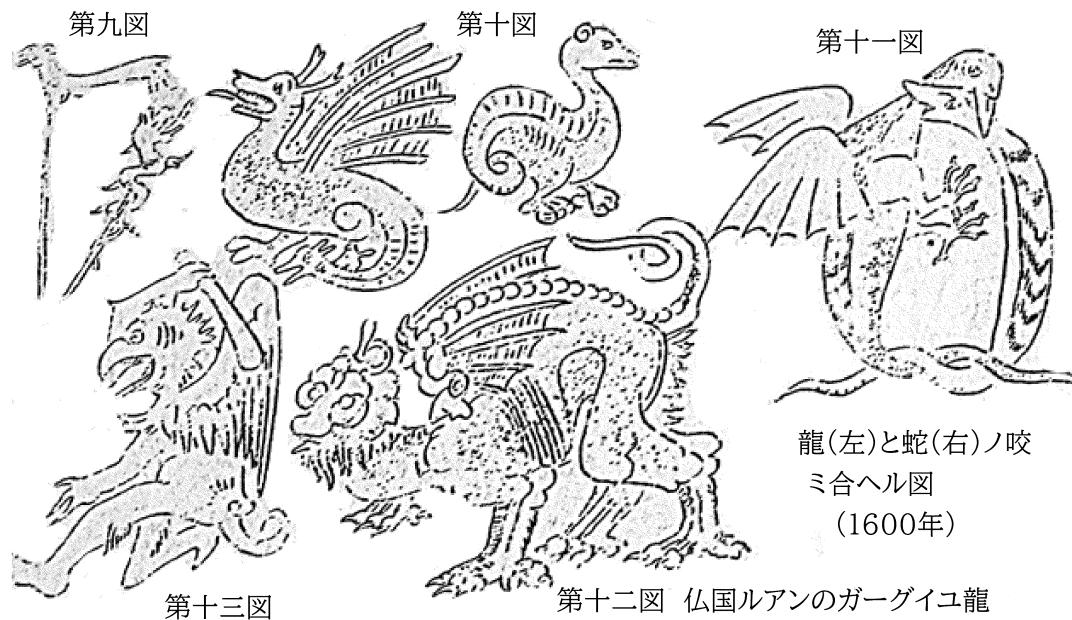
26. 神話ニハ龍ヲ題材トスルコト多ク 例ヘバ希臘羅馬神話デハ龍(draco)ハアフリカ Atlas 山下ノ Hesperides ノ庭園ノ番人デアツタガ英雄 Hercules ニ退治セラレテ居ル。又巨人トノ戦イノ際ニ於テ draco ノ女神 Minerva (or Athena)ト戦ヒ太空ニ投ゲ上ゲラレ星座ト化シタ(30 参照)。

龍の表徴

27. 支那デハ龍ヲ瑞相トシテ尊崇シ(8)、天子ノ“シンボル”トモナリ漢ノ高祖、文帝、北魏ノ宣武帝等ハ、其ノ母ガ龍ニ感ジテ生ンダ子ダト伝エル迄ニナッタガ、西洋デハ Chaldaea ノ女神 Tiamat ハ七頭 七尾ノ大龍デ雌性ノ惡魔ヲ表現シ、埃及教ノ Apophis ハ闇冥界ノ龍デ蛇形ヲナシ日神ニ征服サレタ。希臘羅馬デモ凶物視シ龍(dragontes)ハ目銳ク地下ニスマトシ古埃及ト同様ニ、凶物シ北欧デモ蛇形ノ龍ハ罪惡ノ王デ財ヲ守リ人ガ善イ物ヲ得ルヲ遮ルトシタ。欧洲人ハ龍ノ實在ヲ信ジテ居テ、アルプス山無人ノ境ヲ龍ハ最後ノ棲地トシテイルト思ッティタ。(大英百科全書其他)

28. 基督教デハ龍ヲ惡性ノモノトシ、ミカエル尊者等ハ上帝ニ祈リ龍ヲ誅シテ居リ、又龍ヲ罪惡視シ法敵(anti-Christian)ノ表徴トシタ(第十三図)、九世紀頃ジヤン女法王ノ不義ノ子ガ地獄ニ落チ龍ニ取ラルゝ伝説アリ(第十四図ハ地獄ノ其ノ龍)、中世ハ異端者ヲ龍ニタトヘ仏国デハ惡魔トシテ丁度日本デ祭ノ時鬼ヲ作ル如ク龍ヲ引キ出シテ行列ノ中ニ加ヘタ(第十三図)。

29. 龍ヲ旗章ニ用ヒタノハ古羅馬ニ見エル(第九図)、又英雄アガメムノンハ三頭ノ龍ヲ盾ニ描キ(ホメロス詩)、ノース人ハ舟ニ龍頭ヲ掲ゲ仏教デモ弁財天ヤ龍王ハ龍ニ伴ヒ、描カレテイル。



NO.6.

日本デモ古代ニ既ニ舟ニ龍頭ヲ掲ゲテ遊樂セン事アリ又兜ニモ龍頭ガアル。英國デハ元帥旗ニ用ヒ又アーサー以降皇室ニモ用ヒ エドワード七世ノ時皇太子ノ徽章ト定メラレタ。

30. 星座ニモ龍星座(Draco)アリ Ptolemy 創成ニ係リ北天ノ肉眼星五十二ヲ以テ成リ β / γ ヲ両眼ニシテ神話(26)ノ龍ヲ表ハス。支那デハ亢宿(Virgo)ヲ亢金龍ト称ス。

龍の正体

31. 第一二龍・思想ハ天象ニ“ヒント”ヲ得テ居ル、雷ガ水ヲ打チ折ルヲ漢代ハ天ガ龍ヲ取ルト云ヒ(論衡)閃光ヲ龍ノ金ノ手ト思ヒ(今昔物語、前述 13)、深夜烈風中、龍ノ炯眼ヲ見ル(甲子夜話)、元文二年四月外山辺カラ龍ガ出テ馬場下カラ早稻田ヲマキ人家ヲ損ズ(武江年表)、等ハ旋風ヲ龍トシテ居ル、又前述熊野権現ニ落チタ龍ガ火事ヲ起コシタトアルハ隕石トモトラレル。隕石ハ我国デハ天火ト云フガ英國デハ fire drake(火龍)ト称ヘル。



第十四図

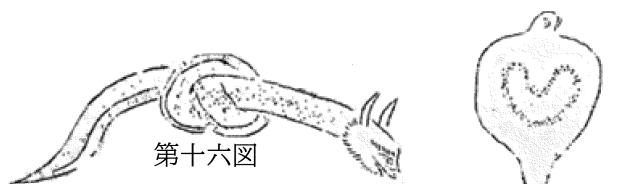
32. 龍ヲ直接ニ天象ソノモノトセズ天象ノ原因ヲナスマノト想像シタ場合ハ甚ダ多ク、トンキン人ハ月蝕ハ龍ノ仕業ト信ジ、法顯伝ニハ毒龍雪ヲ降ストモ龍鬪ツテ雹ヲ降ストモ云フ、馬來人ハ地龍ガ海龍ト戦ヒ敗死シテ昇天シ火ヲ現ズルガ虹デアルト信ズル。

33. 第二ニ蛇ヲ龍トシタコトモ多ク、東西ノ龍ノ形態、語原ハ前述ノ如ク此ヲ証シテ居ル。

就中印度ノ龍(Naga)ハ眼鏡蛇(Cobra)ソノモノデアル。野蛮人ノ中ニハ蛇ヲ“トーテム”トシテ崇拜スルモノ多ク、蜿々タル其ノ形貌、滑ルガゴトキ特有ノ匍匐、鋭キ眼、烈シキ毒性、疾風迅雷的ノ動作越冬時ハ地ニ消エルガ如ク、脱皮スレバ復活スルガ如ク、社寺古跡ヲ守ルガ如ク圍繞シテ棲息セル点等ハ益々神秘視セラル揣摩憶測ヲ逞シウシテ龍ノ思想ヲナシタトルモ強チ附会デハアルマイ

34. 眼鏡蛇(cobra)ハ学名 Naja、馬来区ニ産シ身長大ナルモノハ二メートルニ及ブ怒ルト頸の肋骨ガ拡ガリ眼鏡ノ如キ紋ト共ニ特有ノ形ヲスル、猛烈ナ毒ヲ有ス(第十五図)。類種 Sepedon ハ八尺ノ距離ニ毒ヲ吹キカケ又、Callophis ハ体長ノ半分ニ達スル大キイ毒腺ヲ有ス。又十二世紀写本ニ見ル龍ハ疑

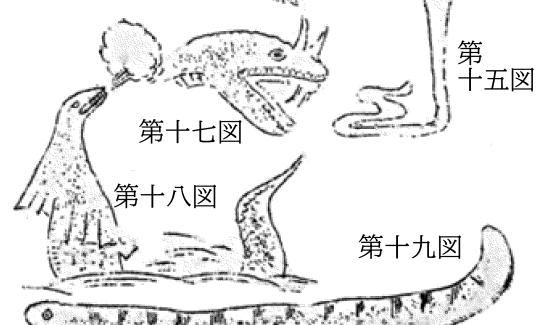
角十字蛇(horned viper)デ(第十六、十七図)神聖視サレタコトハ Cleopatra(クレオパトラ)ノ毒死ガ語ツテ居ル。アメリカニ於ケル龍ハ其ノ地ニ産スル響尾蛇(rattle snake)ニ因スルトモ附会セラル。



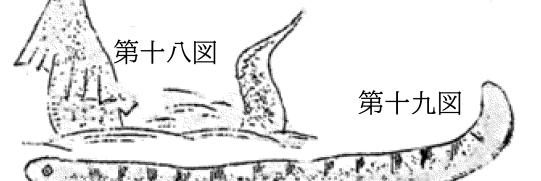
第十五図

35. (1)海蛇モ亦龍ノ正体ノーツトナリ得ル。

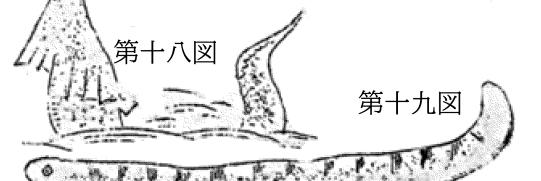
海ノ主トシテ龍、殊ニ竜宮の伝説ハ海蛇ヤ海□、海鳥其他カラ由来シタト信ジルコトモデキル。海蛇(Sea Snake)ハ各地ニ産シ長サ二間ニ及ブモノアリ毒ヲ有ス(第十九図)。牧師エジウドガグリンランドデ見タ海蛇ハ(第十八図)イカヲ誤ッタモノト思ハル。



第十六図



第十七図



第十八図



第十九図

NO.7.

(1)Hydra (□udra □udpa □otter)

36. 第三ニ鰐ヲ以ツテ龍ノ正体トサレル場合モ多イ。鰐ヲ神秘ナモノシテ崇拜スル風習ハ印度、アフリカ、南洋ニ多イ。アフリカ黒人ハ鰐ガ家近ク住ムヲ吉兆トス。セネガル河辺デハ鰐物ヲ取ラレバ宴ヲ張ッテ祝フ。ルソンデハ偽誓文ヲシタ者ハ鰐ニ食ハル信念ヲ有シ、其他鰐ニ託シテ罪人ノ判断ヲ行フ地方アリ、鰐ノ梵名クムビラハ金比羅ト訳サレ又仏典デハ蛟龍ト訳セラル、蛟ノ字ハ鰐ヲ指ストモ云フ。
37. 鰐ハ二科六属二十二種アリ、Gavialハ最大デ三丈アリ印度ガンガ河(ガンジス川の英語名)ニスム、Crocodile ハ最大デナイル川ニ Alligator ハ ミシシツピ川ニ Caiman ハアマゾン川ニスム。南支那ニ於テハ二種棲ミ Crocodiles porosus ハ六メートル、Alligator sinensis ハ二メートルニ及ブ。
38. 第四ニ鮫[さめ]モ亦龍ノ正体ノ一デアル。日本デハ鮫ヲわにト称シ和邇ノ字ヲ用ヒテイル。(西村真次氏)前述豊玉姫龍ニ化セラレタ説(9)ハ古事記デハ龍ガ和邇ニ代ツテイル。古、^{きさいちむねひら}私市宗平(今昔物語)、朝比奈義秀(東鑑)ハ、わにヲ退治テ居ルガ、コレハ鮫デナクテハナラヌ。
39. 鮫ノ大ナルモノハ人喰鮫(man eater)デ長サ四丈ニ及ブ又 Rhinodon[ジンベイザメ]ハ七丈ニ及ブ凶暴性強ク尾長鮫ノ如キハ鯨ヲ襲撃スル、又異奇ナ形ヲスルモノモ多ク撞木鮫[シュモクザメ]、鋸鮫、猫鮫、神楽鮫ハ種々ニ発展シテ附会サレ得ル。鮫類ハ深海、遠海、近海各所ニ棲ム。
40. 第五ニ蜥蜴類モ龍ニ類想サレル。蜥蜴ハ一名石龍子又山龍子ト云ヒヨク雨ヲ吐キ雹ヲ吐ク(本草綱目)、明ノ時、守徐競ガ龍ヲ祈ツタラ蜥蜴ノ如キモノガ出タ、コレ即チ東海龍君ナリ(古今図集)トアル。ロシア、エジプト、マダカスカル、南洋等、蜥蜴ヲ以テ神トスル民族多シ。
41. 蜥蜴ノ形ハ千差万別デ飛龍(flying dragon)ハ学名 Draco、二十種アリ馬来ニ産ス、翼ヲ有シテ木カラ木ニ飛ビウツル(第二十図)、大蜥蜴(Kabara goyo)ハ学名、Varanus、アフリカ、マライニ産シ長サ九尺、中ニハ水ヲ泳グモノアリ(第二十一図)毒蜥蜴、学名 Heloderma ハ中央アメリカニ産シ、人ヲ噛ミ殺ス角蜥蜴(horny lizard)、学名 Phrynosoma ハメキシコ産、角ヲ有シ血、涙ヲ以テ敵ヲ攻撃スルノ奇習アリ(第二十二図)、蛇蜥蜴(Blanu)ハ南欧ニ産シ蛇状デ足ガナイ。(第廿三図)
42. 第六ニ化石ト古生物ト龍ノ関係ガアルガ其レハ別ニ題ヲ改メ他日ニ譲ル。



以上